

第1回
宮良長包音楽コンクール

実施要項

2021 年度



日時	令和3年6月26日(土)	午後2時
場所	琉球新報ホール	
主催	宮良長包協会	
共催	琉球新報社	

第1回 宮良長包音楽コンクール実施要項

趣 旨

コンクール出場とその準備と練習を通じて、長包作品への理解を深め、更にはそれをもって作品の普及継承に繋げたい。

1. 審 査 部 門

1. 声楽独唱部門

小学校低学年の部(1～3年) 小学校高学年の部(4～6年)

中学校の部 高等学校の部 大学の部 一般の部

2. 重唱部門 各パート旋律を一人ずつで歌い合わせる。

3. 合唱部門

同声合唱(児童合唱) 女声合唱 男声合唱 混声合唱 アンサンブル(8名以内)

2. 審 査

1. 部門ごとに公開審査を行い、部門ごとに順位を決定し表彰規定による賞を贈る。
2. 参加のための旅費、その他の経費は参加者の負担とする。
3. 審査には、参加者の氏名は呼ばずに受験番号を用い、演奏順は主催者の抽選によって決める。
4. 演奏は暗譜で行う。
5. 伴奏は、ピアノ、三線、無伴奏のいずれかを選択して行う。
6. 審査は、小学校・中学校・合唱は自由曲1曲のみとする。
高校・大学・一般は課題曲と自由曲とを演奏する。
7. 演奏曲が長い場合、演奏をとめることがあるが、減点の対象とはしない。

3. 審査日程および会場

1. 日時と会場

2021年6月26日(土) 14時開始

会場:琉球新報ホール(那覇市泉崎1-10-3)

2. 部門ごとの審査時間と演奏順番は、参加申し込み締め切り後、追って本人あて通知する。

4. 発 表

1. 受賞者発表は、即日会場にて発表を行う。
2. 表彰式は会場にて行い、審査講評と賞状授与を行う。

5. 応募資格

1. 小・中・高校の部は、小学校児童および中・高校生徒とする。
2. 大学は、大学院生を含む。
3. 上記以外を一般の部とする。
4. 日本国内在住者に限る。但し、国籍は問わない。

6. 申し込み手続き

1. 所定の申込用紙に該当事項を記入の上、参加料と写真1葉(5cm×5cm以内、上半身正面)を添えて、下記宛郵送にて提出すること(写真裏面には名前を記入する事)。
2. 参加料は、協会口座へ振込をし、振込領収書を添付する。

〒903-0125 沖縄県西原町上原2-17-9

宮良長包協会事務局 根路銘孝子

☎ 090-4470-0435

宮良長包協会口座番号

ゆうちょ銀行 記号:17050 番号:19295141

他の銀行から振り込むとき 店番:708 普通預金 番号:1929514

7. 受検料

- | | | | |
|---------------|--------|-------------------|--------|
| 1. 小学校・中学校・重唱 | 1,000円 | 2. 高校・大学・一般 | 2,000円 |
| 3. 合唱・アンサンブル | 3,000円 | ※申し込み後の返金はいたしません。 | |

8. 「申し込み書」記入上の注意

1. 各自の演奏曲は、作詞者名・曲名を記入の上ふりがなをつけること。
2. 出身学校名、在学学校名は正式名を記入の上、ふりがなをつけること。
3. ピアノ伴奏・三線伴奏・無伴奏を記入の上、伴奏者の氏名を明記すること。

9. 申し込み期間と締め切り

令和3年4月12日(月) ~ 令和3年5月12日(水)

10. 注意事項

1. 参加者は指定の日時に会場に到着、係員の指示に従うこと。遅刻の場合は棄権とみなすこともある。
2. 棄権することが決まった場合は、なるべく早く「宮良長包音楽コンクール」係へ連絡すること。
3. 会場でのリハーサルは認めない。
4. 会場は駐車場がないため、公共機関の利用をお願いします。

11. 表 彰

1. 1位受賞者には、賞状とトロフィーを贈る。
2. 2位から3位までの入賞者には賞状と図書券を贈る。

12. 第1回宮良長包音楽コンクール審査員

- 泉 恵 得 (琉球大学名誉教授・宮良長包協会会長)
金 城 泰 子 (女声合唱団「ちゃたん」指揮者、宮良長包協会副会長)
大 工 哲 弘 (八重山唄大哲会会主・琉球民謡音楽協会理事長)
津 下 美奈子 (沖縄女子短期大学名誉教授・声楽家)
外 間 三枝子 (沖縄リート協会代表・宮良長包協会副会長)

13. 課題曲と自由曲

1. 課題曲 (演奏は、歌詞2番までとする)

- ① えんどうの花 ② 桑の実 ③安里屋ユンタ

※課題曲におけるピアノ伴奏の楽譜は、「えんどうの花」と「安里屋ユンタ」は同封の楽譜を使用する。
「桑の実」は、大山伸子編著「宮良長包作曲集」を使用する。

2. 自由曲 (演奏は、歌詞2番までとする)

宮良長包の作品の中から1曲選曲する。

※自由曲は、旋律は原曲のままを演奏し、伴奏については、編曲、無伴奏、三線他いずれでも良い。

【 審査の評価基準 】

審査	技 能	表 現
評価 基準	音程・リズム・発声・発音・ハーモニー等を正確に歌うことが出来る。	曲の解釈・歌詞の理解・ニュアンスの表現を的確に演奏することが出来る。
配点	10点	10点